

プレキャストヤマザキ株式会社における低炭素型コンクリートの取り組み

近年、地球温暖化の原因となる二酸化炭素を含む温室効果ガスを削減するなどの環境を保護するためのカーボンニュートラルに向けた動きが活発となっています。

カーボンニュートラルとは、温室効果ガスの排出量を無くしてゼロを目指すという取り組みです。

日本政府は 2050 年までにカーボンニュートラルを実現することを宣言し、建設現場でもその取り組みが実施され、低炭素材料の利用促進が施されています。



国土交通省では具体的取組として「低炭素型コンクリートの活用」があり、高炉スラグ微粉末を用いた低炭素型コンクリートブロック(高炉スラグ微粉末の置換率を **55%以上**)を活用するモデル工事を実施しております。**(当社置換率 60%)**

《一般的なコンクリート配合》



《当社低炭素コンクリート配合》



CO₂排出量50%減

製造過程で大量なCO₂を排出するセメントの使用量を大幅に削減した低炭素コンクリートを使用した製品で、セメントの55%以上を高炉スラグ微粉末に置き換えてCO₂排出量を50%以上削減(当社比)した商品。

また、弊社では従来より**エコセメント**を使用し製造を行っており他社と比べても非常に高い水準であると自負しております。

当社製造のすべての製品に対応可能

他社に無い強み

弊社は10年ほど前から**エコセメント**を使用し製造行っており、今回エコセメントに加え高炉スラグ微粉末を使用することにより他社の取り組みより高水準のCO₂削減達成しております。

※他社ではエコセメントではなく普通ポルトランドセメント

JIS 認証の許可

この度エコセメント+高炉スラグ微粉末を使用した配合にて JIS 認証の許可を得ることができました。従って従来通り弊社製造 JIS 認証製品については **JIS マーク表示が可能**です。すべての製品が JIS 製品と同等性能を有しております。

その他の取り組み

- ・ コンクリート養生システムを従来の重油燃料から都市ガスへ変更(環境負荷への貢献)
- ・ 軽油燃料フォークリフトをバッテリー式フォークリフトへ変更(環境負荷への貢献および近隣への騒音の配慮)

今後も環境や近隣の住環境へ配慮した取り組みを進めてまいります。

プレキャストヤマザキ株式会社